

奈井江学園父母の会 会報 7号

会長挨拶

活動振り返って

父母の会会長 北島惇二

会員の皆さん、この1年の活動振り返って感想はいかがですか、きっと充実した日々を送ったことと思います。

さて、会の行事を振り返ってみますと、文化部では、春、夏の研修会や会報の発行企画し良い研修の機会を得たと思います。厚生部では、春の花壇整備を楽しくできました。漬物作りでは、大根の作付け、草取りや間引きなどおいしい漬物を作りました。体育部では、日常的な奉仕活動に取り組みのこりは雪祭りへの協力です。その他は、園生の活動支援などがありました。詳しくは各部から報告があります。

「父母の会」のよりよい発展を願い、新しい体制も旧執行部の心配りをいただき今年で5年目を迎えました。まずは規約の改定や会費の徴収と活動の組織化、会の目的に沿って皆さんとともに取り組んできました。

また、今年は総会の付託に沿って利用者の年金の管理に「年金管理検討委員会」を設置し検討を重ねています。次年度に提案できればと取り組んでいます。基本的な抑えとして、運営は自益者負担を原則とし、目的は施設利用者の年金が生涯を通して適正に年金管理及び経理業務が遂行されるものとする。

趣意は、人が、豊かで楽しく充実した生涯を過ごすことはそんなに簡単ではありません。だれでも有意義な人生を送りたいと望みますが、実生活ではいろいろなトラブルが起こり、その解決に悩みながら暮らしているというのが現実です。ましてや施設利用者は心の悩み行動面はもとより生活基盤である経済的な面でどうしても、他からの援助が必要と判断されます。

また、進展する社会の情勢に鑑み利用者の年金管理を初期の目的に沿うように取り組んでいます。この件について、十分な学習をいただいで審議をお願いしていきたいと思えます。

最後に福祉制度も構造改革のもと変わってまいりました。1部は「流汗」でも触れましたが、新年度に研修会等を通して学習の機会があれば幸いです。会員におかれましては年金制度や利用等の点でも関心事と思えます。

さて、今年の活動振り返って楽しく充実したこと、寂しく、悲しい思いをしたことなど本当にいろんなことがありました。しかし、今日まで培った力をさらに21世紀に向かって力強く歩もうではありませんか。

各部から

介護保険導入に思うこと

会計 丸山ゆう子

社会福祉基礎構造改革が始まり、平成15年には介護保険の導入で措置制度から、契約制度に変わります。親としては、どのようになっていくのか不安です。

クラス別参観日の時に多少の話はありましたが、はっきりしたことはまだまだで、こうなるだろうという仮定の話が多かったように思います。

私たち父母は、これからも制度のことをしっかりと勉強し、利用者の個人個人が幸せにその人らしい安心した生活が送れるように、またサービスを受ける利用者と提供者は対等な関係であるということを、しっかりと見ていかなければいけないと思えます。

今年度の行事を振り返って

厚生部 宮本三代子

今年度花壇作り大根の植え、漬物行事等の作業に、父母の皆様のご協力で終了いたしました。愛情のこもったおいしい漬物、きっと利用者の皆様に喜んでいただけたと思います。我家の息子も大好きです。

私も多くのお母さんたちとの触れ合いの場でもあるし、漬物の漬け方を習ったり、プラスになることもたくさんありました。2001年も皆様のご協力よろしく願いいたします。

文化部 今野良雄

20世紀最後の父母の会活動も差し迫ってきました。今年は2,000年問題やカウントダウン、イベントもなく落ち着いた雰囲気での新世紀を迎えることができそうだ。新世紀は、父母の会もろもろの行事に対し余暇を見出し参加したいと思っております。

沢田千恵子

今回役員をとのお話があり少しでも、私に出来ることをさせて頂きたいと思い引き受けました。息子が学園にお世話になってから、諸行事には出来るだけ参加して来ましたが、4月より、仕事をする事になり参加できない日もあり、チョット淋しい気もします。10月の漬物漬けの時、8月の暑い日に種まきをしましたが、雨が多かったせいか大根に黒いすじがあり、沢山捨てる事になり、とても残念でした。今年おいしい大根を作りたいですね。

これからも会長はじめ、役員の方々に教えて頂きながら一生懸命努力して行きたいと思っております。

学園ニュース



編集後記

21世紀が始まりました。これから社会の高齢化に伴い福祉や産業構造等々で、間違いなく変化があると思われます。「時の流れに身を任せ・・・」という歌がありますが、時の流れに身を任せることの難しさを痛感する今日この頃です。時の流れに逆らって生きているか、あるいは、時の流れに取り残されて生きているような気がするのです。